

被災地ボランティア報告書

第3班:平成23年6月15日(水)～平成23年6月17日(金)



廃棄物を生かす力
白井グループ

滝口
田上
波田野
Tavish

千明
健一(営業部)
優一(作業部)
Bhasin(インターン)

■1日目 6月15日(水)

仙台到着

■2日目 6月16日(木)

石巻市にてボランティアの実施

午前:被災者宅の床下へドロ除去

午後:思い出洗い隊

■3日目 6月17日(金)

東京へ

ボランティア活動(受付)

- ・場所:石巻専修大学
- ・時間:9時45分に到着。

受付終了後、山田さん、荒木夫妻らと合流。

ベテランの山田さんは、構内にテントを張ってボランティア活動をしているそうです。



元気良く受付に向かうタビッシュ



作業内容を確認しています

■ 浸水された個人宅の床下にあるヘドロ除去作業

- ・場所: 石巻市大道街東
- ・作業時間: 11時～12時
- ・作業道具: スコップ8個、スコップ小2個、バケツ4個、ちりとり4個、土嚢袋500枚、手押し車2台

床下よりヘドロを取り除き、石灰を撒いて作業を完了。

来週、大工さんが来るのに間に合いました。



作業道具を車両から降ろしている所(個人宅前)



作業後、荒木夫妻と

■思い出洗い隊のお手伝い

- ・場所:旧石巻市役所
- ・作業時間:13時~16時

災害派遣されている自衛隊、警察、消防が、ガレキの中から思い出の品(写真や賞状、絵、ランドセル、位牌など)を集めてきます。

それらの泥を取り除き、きれいにして2階に展示しています。

それを市民へ返還するボランティア活動です。

今回は、写真の洗浄をお手伝いしました。



旧市役所1階の部屋で作業を行いました

ボランティア活動(午後)

写真は、インクの上にゼラチンが塗られているそうです。水に濡れたり汚れた写真を早くきれいにしないと、そこをバクテリアが食べてしまい消えてしまいます。

水槽の水につけて、写っている顔が消えてしまわないように、慎重な作業を続けます。



ボランティア活動(午後)



思い出を消さないように、真剣な作業です





汚れや傷を取り除いた後に乾かします

濡れたり、汚れてしまった写真がまだまだたくさんあります。

美容師のりょうじさんは、もっとたくさんの人に来てもらい手伝って欲しいと言っていました。

幼子を湯船に入れているお父さん、公園で手をつないでいる兄弟、保育園のお遊戯会や小学校の運動会など、どこにでもある当たり前前の生活がそこには写っていました。

ボランティア活動(市内の様子)



市内は未だに信号機が点灯しないところがあります。家屋の倒壊もありました。

ボランティア活動(石巻市災害廃棄物仮置場見学)



ガレキ



混廃

トラックが、多い時で
1,200台／日運んで
きます。



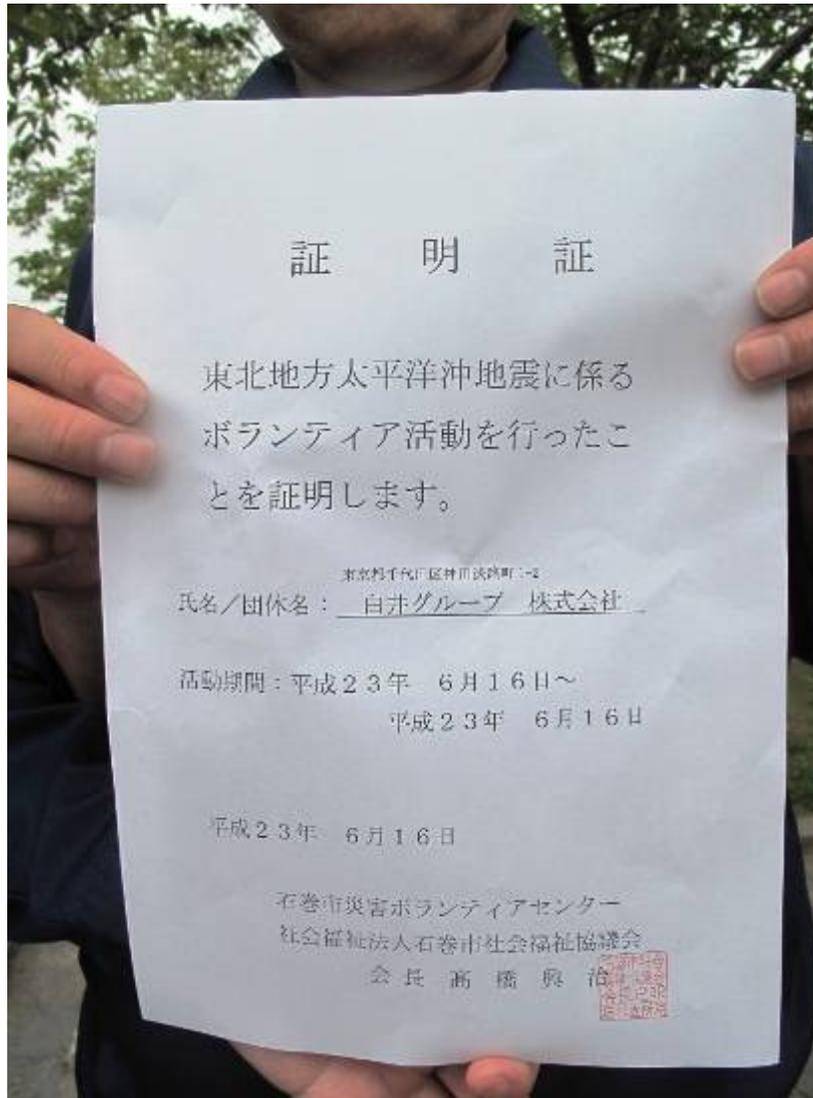
家電



畳・汚泥



木くず



・場所：石巻専修大学

・終了時間：17時

事故もなく、無事任務完了しました。

本日の作業報告を済ませ『証明書』を
いただきました。



渋滞中。片道1時間45分かかりました



応援したら楽天が勝利？しました

被災された方は、ゆっくりですが復興に向けて動き出しています。

依然として、ボランティアは必要とされています。

力仕事から軽作業まで幅広くあります。

被災者とボランティアを通じて触れ合う事、被災地にお金を落とすこと、戻ったら被災者の声を皆に伝えます。